

基本理念

どんなに重い障害があっても“何かが出来る”一人が出来なかつたら、“みんなで助け合う”そして多くの方々との交流を大切にして、地域社会の中に生活の基盤を築いていきたい。

The

いずみ園 TIMES

生活介護事業所



編集・発行

社会福祉法人 緑の会 いずみ園
〒277-0042
千葉県柏市逆井341
TEL: 04-7176-8085 (代)
FAX: 04-7176-8087
e-mail: izumien@technowave.ne.jp

理事長就任にあたって



この度、社会福祉法人緑の会理事長に就任しました。よろしくお願ひ申し上げます。四月以来、職務職責の重大さに身の引き締まる思いしております。

滝本前理事長の大きな功績に光り輝く緑の会いずみ園の歴史に決して汚点を残してはならないと就任早々緊張の日々です。またサポートの会を始めとする、地域の皆様方の暖かい御支援の数々に改めて御礼申し上げます。

「どんなに重い障害があつても、“何かが出来る”一人でも、何かが出来たら”みんなで助け合う”そして地域社会で生活の基盤を築いていきたい」(傍線関)というコンセプトを瞳のまなこのように大切に実践していく所存です。いずみ園創設以来、各地域に多様な福祉サービスが設立され目を見張るものがあります。であるか

理事長

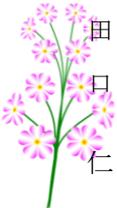


退任にあたって想ひ

『地域と生きるいずみ園』

【理事・役員紹介】

| | | | | | | |
|------|------|------|-------|------|------|-------|
| 監事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事長 |
| 田口敬仁 | 水林敬博 | 仁宮偉久 | 山崎美智子 | 中野愛彦 | 小林信也 | 滝本二三江 |



「感謝」

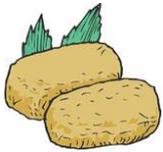
増尾台ウイズホーム1周年



増尾台ウイズホームが、おかげさまをもちまして、平成26年5月15日で1周年をむかえました。その記念行事として、ホームの2階の窓を全開にして、入居者・保護者、ボランティア、職員で食事会を行いました。1年間のことを振り返りながら、心地よい春風を受け、おいしい食事をいただきました。

1st Anniversary!!

↑開放されたベランダでゆっくりと。



←ボランティアさんたちが、心地良い2階のベランダで。



←ベランダに面した机で食事をいただきました。春風が素晴らしい！



障害者総合支援法の

平成二十六年年度施行について

障害者総合支援法が平成二十五年四月に施行されました。そして平成二十六年四月には二段階目として、次のことが施行されました。

- ① 重度訪問介護の対象拡大
- ② ケアホームとグループホームの一元化
- ③ 地域移行支援の対象拡大
- ④ 障害程度区分から障害支援区分への変更

ここでは②と④を取り上げて説明してまいります。

「ケアホームとグループホームの一元化」

実質ケアホームがグループホームに吸収される形となります。よって、「ケアホーム」という言葉は無くなってしまいました。

またサービス形態が次の2つに分類されます。

- ① 介護サービス包括型
グループホーム事業者が自ら全て行う。
- ② 外部サービス利用型
グループホーム事業者は手配のみを行い、外部のホームヘルパー事業所に委託する。

わかりやすく言うと、①は

従来通りのグループホーム、②は食事や清掃を行う世話人だけをグループホーム事業者が用意し、入浴・排泄などの生活支援員をホームヘルパー事業所が用意するものです。

増尾台ウイズホームでは①の介護サービス包括型を選択し、従来通りのサービスを提供しています。

「障害程度区分から障害支援区分への変更」

前者は「当該障害者等の心身の状態を総合的に示すもの」。後者は「障害者の多様な特性その他心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すもの」とされています。つまり、障害の状態に着目するのではなく、支援の度合いに着目します。見た目に軽度の障害の方でも、もしかしたら、支援の量は多くなるかもしれないということが想定されます。これまで、反映されにくかった行動障害や精神面等が反映されるようになっていくといえます。

新利用者紹介



新利用者を迎える会



原田 知治 さん

(はらだ ともはる)

柏市十余二在住

松戸特別支援学校高等部 平成26年3月卒業

今年の四月からいずみ園の仲間入りをされました。声掛けをされるとよく見せてくれる「ハラダスマイル」がとても素敵で、女性ファンが増えること間違いなし！いずみ園に癒しの存在がまた加わりました。

平成二十六年四月二日(水)に新利用者を迎える会を行いました。

今年度は1名の利用者さんをいずみ園にお迎えし社会人としての新たな一歩を踏み出されました。

多くの方と関わり、いずみ園生活を楽しんでいきましょう。



← 関新理事長あいさつ。これまでの理念を受け継ぎ、新たな誓いを述べられました。



→ 滝本前理事長あいさつ。二十一年間にわたり、法人を牽引していただきました。



↓ 新利用者迎える会。緊張のいずみ園生活のスタート？

↑ 新利用者の原田さんへお花を贈呈しました。

送ることば

柏市の酒井根に東葛医療福祉センター「光陽園」がオープンとなり、これまで尽力されてきた利用者保護者の願いが形となりました。医療的なケアが必要な方も入所ができる体制となっている入所型施設です。いずみ園からも7名の方が入所されました。新利用者を迎える会

の中では、新たな生活を迎える皆さんに送ることば差し上げ、これまでのいずみ園生活を振り返りました。淋しい気持ちもありますが、楽しい生活が送れるよう祈念します。





→紫外線を発光しつつ、振動しながら動く「ふとんクリーナー」



raycop
—紫外線が発した「光クリーン」メカニズム—
(レイコップ)

"感謝"

日立金属株式会社様



前号でご紹介できませんでした日立金属様からのご寄附を紹介させていただきます。

↑ Canon 製デジタルビデオカメラ。いずみ園生活のムービーを撮影していきます！

平成26年3月11日(火)に、自薦、他薦で公募し、厳正なる選挙におきまして、左記のと通りの利用者さんが役員として選出されました。いずみ園祭の利用者企画、仲間の会活動の企画を中心になって立案、行動をしていただきます。また行事等であいさつや、花束贈呈などの役割もあります。よろしくお祈りします。

平成26年度 仲間の会新役員 決定！

会長 岡田 史生



副会長 芳賀 毅



副会長 田原 京子



会計 松丸 俊司



よろしくお祈りします。

書記 田崎 幸男



※平成25年度をもちまして、「地域活動支援センターさくら樹」は終了となりましたこと、ご報告させていただきます。

ボランティア募集

いずみ園では、利用者と共に作業、外出、移動、食事介助して下さる方のご協力をお待ちしております！！

住所：〒277-0042 柏市逆井341番地

電話：04-7176-8085 (代)

Email : izumien@technowave.ne.jp

時間：9時30分～15時



編集後記

世界は今いたるところで緊張感が高まっています。ウクライナとロシア、中国とその周辺諸国、タイのクーデター、アフリカの拉致事件等。島国だからではないでしょうか、日本はあまり身近に感じられていないような気がしません。しかし、しっかりと安全保障があるとした安全保障がある生活や福祉は成り立ちます。関心をもつだけでも、何か行動を起こすときには役立ちますので、心掛けていきたいものです。(三井)